

加西病院の状況について

一般質問



高橋佐代子 議員
(自民の風・誠真会)

問 入院生活を経験して、ホスピタリティあふれる加西病院の温かい雰囲気に触れ、改めて地元の加西病院のありがたさと必要性を感じた。北播磨総合医療センターがオープンしたが、引き続き医療の質の向上と医療サービスの充実に努めていただき、加西病院が市民の安全・安心のよりどころとして発展していくことを願っている。

- ①今年度の入院患者数等の状況は？
- ②北播磨総合医療センターが開設したことによる影響は？
- ③国の医療制度改革の中で、地域でどのような役割を担う病院を目

指しているのか。
④行政として加西病院や地域医療をどのように支えていかれるのか。

答 ①4月～10月末までの入院患者数は4万7,250人、1日平均220.8人で、昨年同期と比べると3,157人、1日平均15人増加しています。病床利用率は、昨年度の79.3%から84.9%になり、今年度の経営状況は多少の好転を見込んでいます。

②10月は、加西市民が北播磨総合医療センターへ1日平均4.5人入院、外来は1日平均20人が受診されています。一方、加西病院には三木、小野、両市民が1日平均で13.1人入院、外来は1日平均25.5人が受診されました。北播磨総合医療センターが本格稼働した11月以降の状況を確認しながら、実質的な影響を判断していきたいと考えています。

③医療の質、働く環境の質、人

材を育てる環境の質の向上を図り、患者、市民、職員の満足度を高め、市内唯一の総合的な診療科構成を持つ急性期病院を目指したいと考えています。

④市民全体で地域医療を守っていくという意識を高めながら、加西病院における医療者の確保と安全な医療体制の構築を進め、地域の医療機関との連携のもと、市民が安心して医療にかかれるよう努めます。また、加西病院が持続的発展をしていけるよう、市の財政状況を勘案しながら、できる限り財政面での支援を続けたいと考えています。

■その他の質問項目

- ・新教育長としての抱負について
- ・北部子育て学習センターの移転について
- ・ごみの減量とリサイクルについて

加西クリーンセンターの休止について

一般質問



井上 芳弘 議員
(日本共産党)

問 小野市の施設では、10年ないし15年間を目標に適切な運営に努め、施設が大規模な改修とならないよう維持管理を行うとしている。しかし、そのような維持管理を行いつつも大規模な改修が必要となった場合には、適当な負担割合に基づいて加西市にも負担してもらうという決定事項だと思うのだがどうか。

答 大規模改修は行わないと決定事項に明示してありますので、仮に大規模改修、基幹改修が発生した場合は、規約に基づいた負担は当

然必要になってきますが、毎年の補修計画によって15年間もつといることを決定事項において確認しており、そのとおり進められるものと考えています。

問 15年施設をもたせていこうと思えば、30ト炉については40年、50ト炉についても30年となり、通常からいけば当然それらの大規模改修も想定され、この点についての検討が必要である。もし間違いなく大規模改修をしないということであれば、しっかりと長寿命化計画も示した上で比較検討されることが望ましかったのではないかと。

答 平成元年の施設については、平成13年に約19億から20億かけて大規模改修をしています。また、日々の日常点検、補修を定期的にし

っかりとやっていけば、全国的な事例を見ても30年以上もっている施設があります。小野市においては、これら点検の進め方・やり方について適切に運用されているものと認識しています。

意見 効率性を示す際には、しっかりした資料や情報の開示を行い、政策形成過程から市民に知らせるのが本来である。「そういう形で努力される方向です」という程度で進めていいことなのか非常に危惧を覚える。

■その他の質問項目

- ・公共交通総合連携計画に関連して
- ・介護保険制度の現状について
- ・水道料金の引き下げについて
- ・教育施設に関連して